

洪水被害により床上浸水した 住宅の清掃と処理方法



一般社団法人 温熱環境研究所
Onnetsu Kankyo Laboratory

洪水被害により床上浸水した

住宅の清掃と処理方法

洪水や高潮で浸水した住宅の清掃と衛生処理について説明します。1階の床上浸水を念頭に説明します。床下浸水や2階まで浸水した場合は、この応用問題として対処してください。

1. 写真を写す

水が引いて自宅に戻ったらまず写真を撮ります。被害状況によって保険金や市町村、県、国からの見舞金や補助金が出ます。被害状況の正確な評価のためにも、写真が重要です。また、写真は、将来のリフォーム等の役に立ちますので、清掃作業の段階ごとに色々写しておくとい良いでしょう。

2. 水洗と乾燥が基本

浸水住宅では、2～3日でカビが生えだします。カビは、毒性の胞子を空中に飛ばすことがありますから、流感用のマスクとゴム手袋、ゴーグルをして作業してください。最初に、風通しを良くし、屋内を乾燥します。水につかった畳、カーペット、布団、ぬいぐるみ等は廃棄します。しかし、高価な品、思い出の品などは、水で洗って乾燥してからジクロロイソシアヌール酸ナトリウムを濃い目に溶解したふろの水に浸漬して殺菌、殺カビ処理し、脱水、乾燥すれば使用可能と思われます（実績なし）。大切にしている家具などを残しておきたい場合は、よく洗い、消毒してから屋外で乾燥します。

床上浸水の場合は、内装（石膏ボード）を外し、断熱材も外して廃棄します。

次に水洗いです。床、壁内部の構造材（柱、間柱、外壁外側の面材等）に水道水を吹き付け、徹底的に洗浄します。

床を全部あるいは一部外し、床下のヘドロを掻き出し、最後に、コンクリート基礎に水道水を吹き付けてヘドロを洗い流します。

床下が地面（露地）の場合は、ヘドロをできるだけ掻き出し、地面を乾燥させます。床下を早く乾燥するためには、床板は外したまますべての窓を開けて風通しを良くします。

基礎と土台の間の空隙も水を吹き付けて洗い流し、通風機能を確保します。

床下の露地には、生石灰などを指示に従って散布し消毒します。

3. 消毒、カビ駆除、防腐防蟻処理

1) 材料

弊社では、消毒・カビ駆除、防腐・防蟻対策用として、八ホウ酸二ナトリウム四水和物（DOT）2.2 kg入り2袋、添加剤（PEG300 100g×2瓶）、ジクロロイソシアヌール酸ナトリウム（アルミ包装 3g×4個）、使用説明書1通を段ボール梱包品としてお届けします。使用説明書をよく読んでからご使用ください。

2) 吹付装置

ガーデニング用の蓄圧式噴霧器（容量4～5リットル）を使います。ホームセンターや通販で5千円以下です。プロの使う電動噴霧器でももちろんOK。

3) 処理液10 L(リットル)の調製

- ・ 内面に目盛りのついた 15 Lのポリプロ製バケツに、瞬間湯沸かし器などから60℃以上の熱水を注ぎ水面を目測で7.5 Lに合せます。水温を測定し、55℃以上であることを確認します。
- ・ 湯かき棒で熱水をかき混ぜながら、2.2 kgのDOT(ティンボア)を数回に分けて添加し、透明な水溶液になるまで十分にかき混ぜます。
- ・ 上記水溶液に添加剤0.1Lを加え、よくかき混ぜる。
- ・ 水を加え、水面を10 Lに合わせ、よくかき混ぜます。
- ・ 使用直前に、処理液20Lに3gのジクロロイソシアヌール酸ナトリウム錠剤1～2個を投入、溶解します。
- ・ 調合した処理液は20Lのポリタンに保存し、その日のうちに散布処理に使います。

4) 消毒、カビ駆除、防腐防蟻処理

カビに直接接触したり、胞子を吸い込んだりしてはいけません。手袋、ゴーグル、新型インフルエンザ用保護マスク(N-95基準)を着用して下さい。

乾燥が済んだら床下地板、フローリング、内外壁構造材、床下構造材を念入りに吹付処理します。特に外壁構造材は、住宅の寿命に深く関りますので、上端から下端まで、一晚以上の間をおいて2度処理してください。また、外壁外側の面材の材質を確認し、写真に写しておくとい良いでしょう。あとで役に立ちます。

最後に床下構造材を吹き付け処理します。シロアリや腐朽菌の攻撃対象になりやすいので、2～3度処理することをお勧めします。専門家は、綺麗にサーっと吹き付けて終わらせてますが、実際には、しつこく何度も吹き付けて木材中のDOT濃度を高めることが本質的に重要です。

4. 清掃後の管理

清掃作業が終わっても、屋内には多量の湿気が残ります。こまめに風を通し、必要なら暖房器具やエアコンを使って屋内の湿度を下げる努力を続けてください。木材などの材質は、乾燥しているように見えても、カビの発生に必要な水分を含んでいることがあります。もしカビが再発したら、クリーニングを繰り返し、湿度を測定しながら急速乾燥します。カビの再発は、材質が十分乾燥していない警報です。

5. 全てのものが乾燥したら修理、整理を始める

外壁構造材が完全に乾燥したら内装工事を始めるタイミングです。内装工事を始める際には、新しく構築される外壁構造（外側面材、断熱材、内側の石膏ボード、壁紙など）が外壁内部の乾燥状態を保証するものであることを施工会社に確認してください。

6. 安全等

- 処理液 が眼に入ったら、ぬるま湯でよく洗ってください。
- 処理液を飲み込んだ場合は、水を飲ませ様子を見ながら、医者か毒物センターにコンタクトしてください。
- カビによっては、毒性の高い孢子を飛散させるものがあります。作業時はインフルエンザ予防用マスク、ゴーグル、ゴム手袋を着用してください。
- DOT 水溶液がガラスや陶器に付着したら水で洗い流すか濡れたタオルでふき取ってください。長時間放置すると付着して取れなくなります。
- 盆栽や植木に処理液が掛かったら水で洗い流してください。放置すると葉が枯れることがあります。
- 処理液は幼児の手の届かない場所に保管、あるいは使用してください。
- 20%の処理液は 1～2 日で沈殿を発生します。処理液を調製したら、その日のうちに使い切ってください。沈殿が発生したら、ステンレスの鍋に入れて加熱すれば透明な溶液になります。



一般社団法人 温熱環境研究所
Onnetsu Kankyo Laboratory

〒105-0004 東京都港区新橋2-9-16

TEL03-6205-7750 FAX03-6205-7779